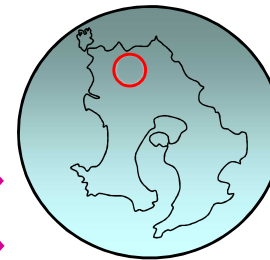


# 計画名称 出水市における地域間交流の促進に寄与する安全安心で快適な生活環境の確保のための道づくり

【事業主体】 出水市



## 計画の目標・計画期間

出水市、高尾野町、野田町の合併（平成18年3月）に伴う、基本的な枠組みの変化に対応する地域間連絡強化のための道づくりを行うことで、本市の健全な発展と秩序ある道路整備を支援し、通学路等の生活道路の整備により地域住民の安全・安心で快適な生活環境を確保する。〔平成21年度～平成25年度（5箇年）〕

道路利用者

道路改良“約0.2km”が整備され道路利用者の安全性が向上

橋梁“約0.3km”が整備され歩行者等の安全性が向上

## 要素事業の進捗状況

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考	
				完了	継続		
A：基幹事業	市町村	道路改良	●	4	3	4	現道拡幅
		橋梁補修	▲	5	5	5	橋梁補修
B：関連社会資本事業	—	—	—	—	—	—	
C：効果促進事業	市町村	計画等	—	2	2	2	橋梁長寿命化修繕計画、無電柱化

## 目標達成状況

指標①	計画の成果目標	安全・安心で快適な安全通行空間の確保率を当初64%（H21）から69%（H25）に拡大する		
	定義及び算定式	路線毎の交通量に即した道路幅員で整備し、車両や歩行者の交通安全を確保する。 確保率 = $\frac{\sum (\text{整備済延長} \times \text{計画幅員} / \text{交通量})}{\sum (\text{路線延長} \times \text{計画幅員} / \text{交通量})}$		
	達成状況	達成度 ⇒ 20%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)
	下高尾野線他2箇所の改良事業に着手できたが、測量設計、用地補償費等に費用を要し、東下り松線の一部しか完了が図れなかったため目標を達成できなかった。なお、橋梁補修については、全て事業完了を図ることができた。	目標値	64%	69%
	実績値	—	65%	

## 今後の方針

南九州西回り自動車道二次アクセス道路である下高尾野線、阿久根市脇本地域へのアクセス道路である東下り松線、浦達連尺野線など平成26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。

## 事業箇所



# 計画名称

出水市における地域間交流の促進に寄与する安全安心で快適な生活環境の確保のための道づくり

【事業主体】 出水市

## 事業効果発現事例

### 道路改良

ひさしさがりまつ いすみ たかおのまちえうち  
その他市道 東下り松線(出水市高尾野町江内地区)



#### ★整備効果★

出水市高尾野町江内地区から阿久根市脇本地区へのアクセス向上及び交流の活性化に寄与するとともに、自動車及び歩行者の通行の円滑化及び安全が確保されました。

- ◆一車線 (3.7m) が二車線 (5.5m) に拡幅
- ◆歩道 (2.0m) の整備

### 修繕 (橋梁)

おきたよこお だいいちかみちしき  
一級市道 沖田横尾線(第1上知識橋)



#### ★整備効果★

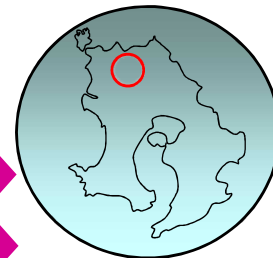
出水市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図っております。早期対策が必要な橋梁が52橋あり、早期補修が必要な橋梁から修繕を実施しております。

- ◆平成25年度末 5橋補修

# 計画名称

出水市における地域間交流の促進に寄与する安全安心で快適な生活環境の確保のための道づくり（防災・安全）

【事業主体】 出水市



## 計画の目標・計画期間

出水市、高尾野町、野田町の合併（平成18年3月）に伴う、基本的な枠組みの変化に対応する地域間連絡強化のための道づくりを行うことで、本市の健全な発展と秩序ある道路整備を支援し、通学路等の生活道路の整備、都市内の円滑な交通確保、並びに、防災機能の強化により安全・安心で魅力ある都市環境を形成する。〔平成21年度～平成25年度（5箇年）〕

道路利用者

舗装“約0.9km”が修繕され通行車両の走行性が改善された

排水“約0.2km”が整備され道路利用者の安全性が向上

## 要素事業の進捗状況

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施			備考
				完了	継続		
A：基幹事業	市町村	道路改良	●	1	1	1	現道拡幅
		舗装補修	■	1	1	1	舗装補修
		その他	◆	1	1	1	排水工
B：関連社会資本事業	—	—	—	—	—	—	
C：効果促進事業	市町村	調査等	—	3	3	3	路面性状、法面変状調査等

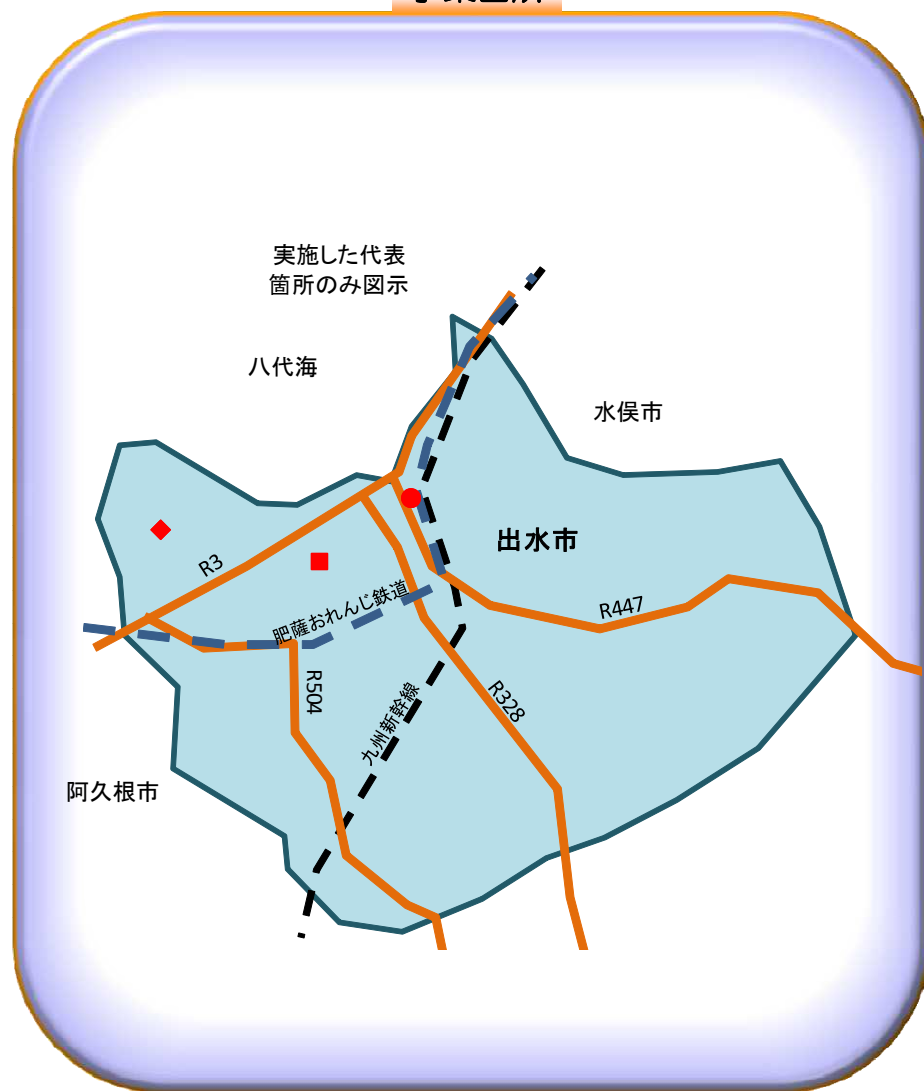
## 目標達成状況

指標①	計画の成果目標	市道舗装の最重要補修箇所の補修完了率を当初2.5%から2.6%に拡大する		
	定義及び算定式	当初現況値：18.4km（最重要補修延長）÷715km（舗装済市道延長）=2.5% H25末補修率：1.1km（H25補修延長）÷715km（舗装済市道延長）=0.1%		
	達成状況	達成度 ⇒ 100%		
	市道広瀬橋山崎線ほか2箇所において、舗装補修を行い目標を達成できた。なお、排水工についても事業完了を図ることができた。	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)	
	目標値	2.5%	2.6%	
	実績値	—	2.6%	

## 今後の方針

南九州西回り自動車道二次アクセス道路である六月田野間ノ関線を平成26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。

## 事業箇所





# 計画名称 出水市における地域間交流の促進に寄与する安全安心で快適な生活環境の確保のための道づくり（防災・安全）

【事業主体】 出水市

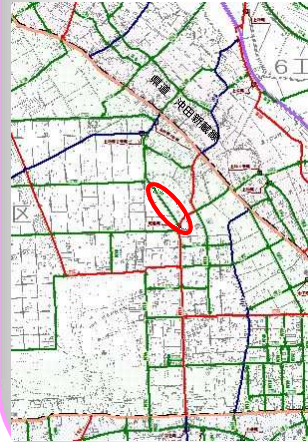
## 事業効果発現事例

### 修繕（舗装）

かしまかみむら ちしき  
その他市道 鹿島上村線(出水市知識町地内)

整備前

整備後



#### ★整備効果★

路面性状調査の結果、老朽化が著しく路面にひび割れやわだち掘れが多く見られた当該箇所の舗装を修繕したことにより、自転車及び歩行者の通行の円滑化及び安全が確保された。

### 道路修繕（排水）

とどろやま たかおのまちえうち  
その他市道 轟山線(出水市高尾野町江内地区)

整備前

整備後



#### ★整備効果★

出水市高尾野町江内において、排水路を整備したことにより市道東下り松線の保全と流域人家への災害被害の防止効果が得られました。

◆土側溝を600×600水路に整備